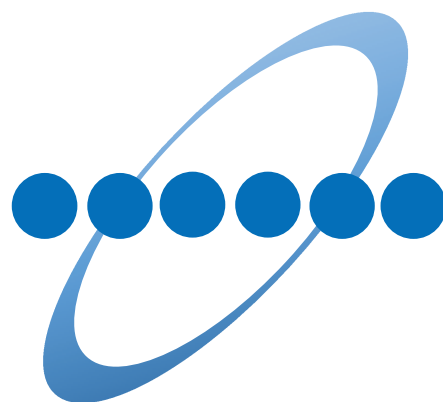


基本理念～目指すべき人間像～

学ぶ意欲にあふれ、  
心豊かでたくましく  
夢に向かって羽ばたく子どもたち

郷土への愛着と誇りを持ち、  
高い志を掲げ、  
日本や高知の未来を切り拓く人材



## 第2期 教育等の振興に関する施策の大綱 (改訂版)



県では、教育等の振興に関する基本理念、基本目標、それらを実現するための総合的な施策を定めた「第2期教育等の振興に関する施策の大綱」を令和2年3月に策定しました。

大綱の計画期間：令和2年度から令和5年度（4年間） 令和3年3月 第1次改訂



高知県 11月1日は高知県教育の日「志・とさ学びの日」です

# 高知県の教育の現状（知）

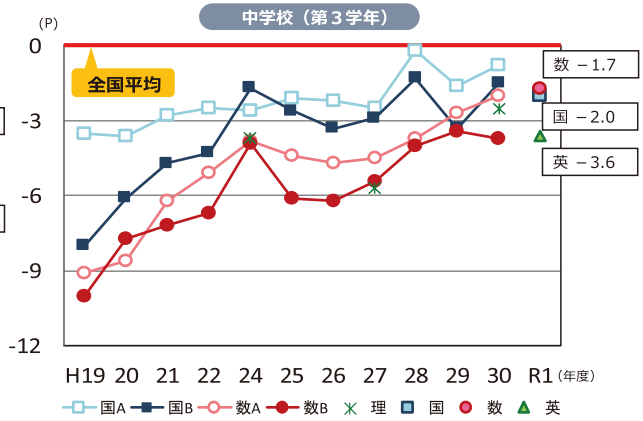
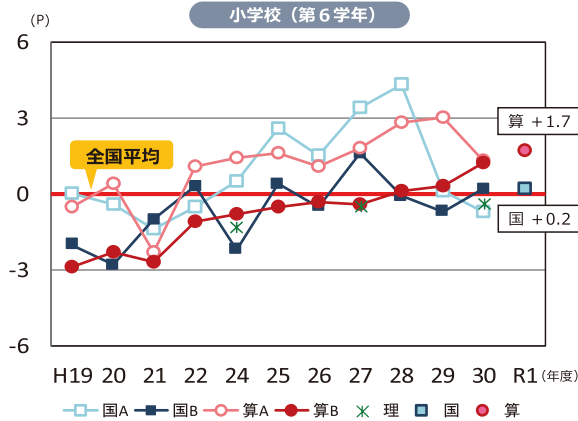


## 児童生徒の学力の状況 <小・中学校>

- 小学校は、近年、国語の知識・技能の定着に伸び悩みが見られるものの、令和元年度調査では引き続き全国上位に位置しています。
- 中学校は、改善傾向を維持し全国平均まであと一歩という状況ですが、英語については全国平均との差がやや大きくなっています。

### ■ 全国学力・学習状況調査結果

◇ 本県と全国の平均正答率の差（教科、問題別）



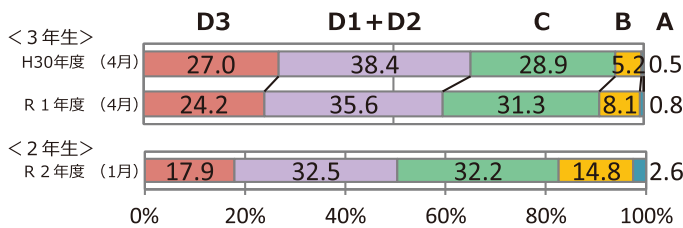
※平成22・24年度は抽出調査、平成23年度は東日本大震災、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施  
 ※令和元年度は、A問題(主として「知識」に関する問題)とB問題(主として「活用」に関する問題)を一体的に問う調査に変更



## 生徒の学力・進路の状況 <高等学校>

- 令和2年度の学力定着把握検査結果では、2年生のD3層の生徒の割合は17.9%となっており、参考値※と比べ減少しています。
- 進路未定で卒業する生徒の割合は減少傾向にあり、平成25年度の11.0%から令和元年度は4.7%と半減しています。

### ■ 学力定着把握検査結果（2年生1月の3教科総合の結果） H30,R1年度3年生（4月）は参考値※

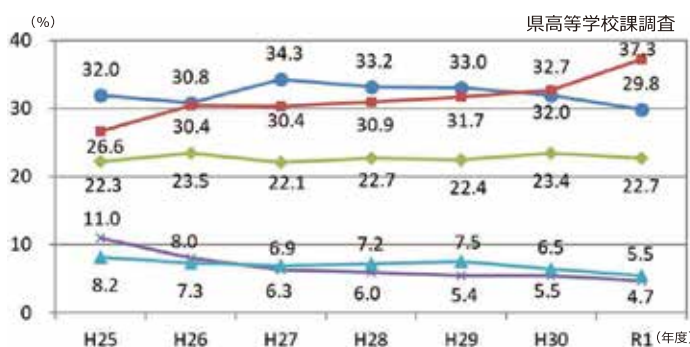


※数値は学力定着把握検査Ⅰ（29校）の結果（その他の7校では別検査を実施）  
 ※評価尺度である学習到達ゾーンの内容は右表のとおり

学力定着把握検査Ⅰの評価尺度

学習到達ゾーン	進路選択肢	
	進学	就職
A	国立大合格レベル	上場企業などの大手の就職筆記試験
B	公立大合格レベル	や公務員試験に対応できるレベル
C	私大・短大・専門学校的一般入試に対応可能なレベル	就職筆記試験における平均的評価レベル
D	上級学校に進学することはできるが、授業についていけず、苦労する学生が多い	就職試験に必要な最低限のラインはクリアしているが、仕事をする上で支障が出ることが多い（D1・D2） 筆記試験が課される企業では不合格になることが多い（D3）

### ■ 公立高等学校卒業生（全日・定時・通信制）の進路状況



※就職率・進学率は、公立高校卒業生全体に占める割合  
 ※進路未定には、具体的な進学・就職先が未定、パート・アルバイト等の生徒も含む



## 徳

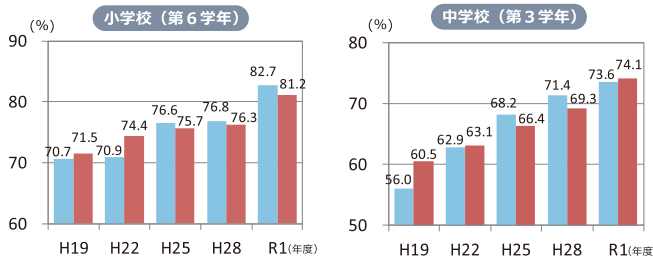
### 児童生徒の意識や態度、生徒指導上の諸課題の状況

- 自己肯定感や規範意識については、平成19年度から肯定的な回答の割合が小・中学校ともに増加しています。
- 生徒指導上の諸課題については、中途退学率は減少傾向にありますが、不登校児童生徒数の増加など、厳しい状況が続いています。

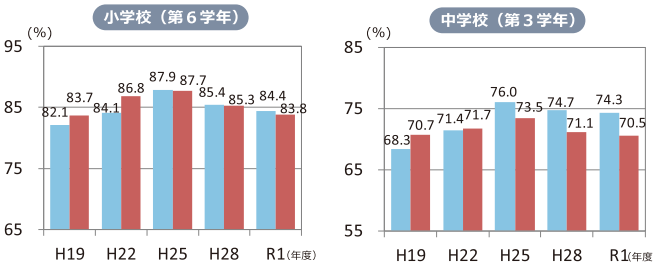
#### ■全国学力・学習状況調査結果 児童・生徒質問紙調査結果抜粋

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施  
※各質問に対し肯定的な回答を行った児童生徒の割合

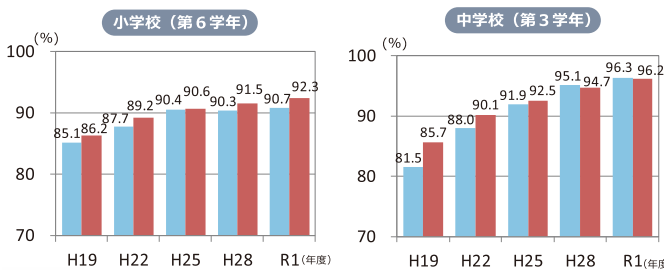
##### ◇自分にはよいところがある



##### ◇将来の夢や目標を持っている



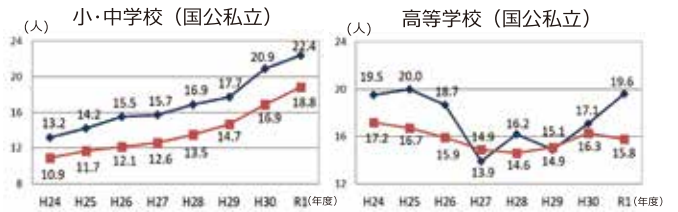
##### ◇学校のきまり（規則）を守っている



#### ■児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

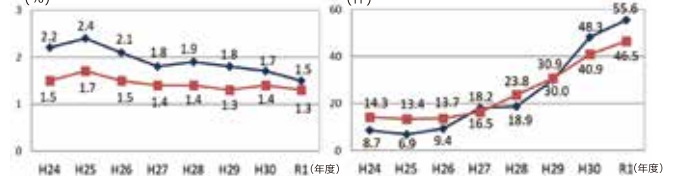
— 高知 — 全国

##### ◇不登校 1,000人あたりの不登校児童生徒数



##### ◇中途退学

##### ◇いじめ



##### ◇暴力行為 1,000人あたりの発生件数



## 体

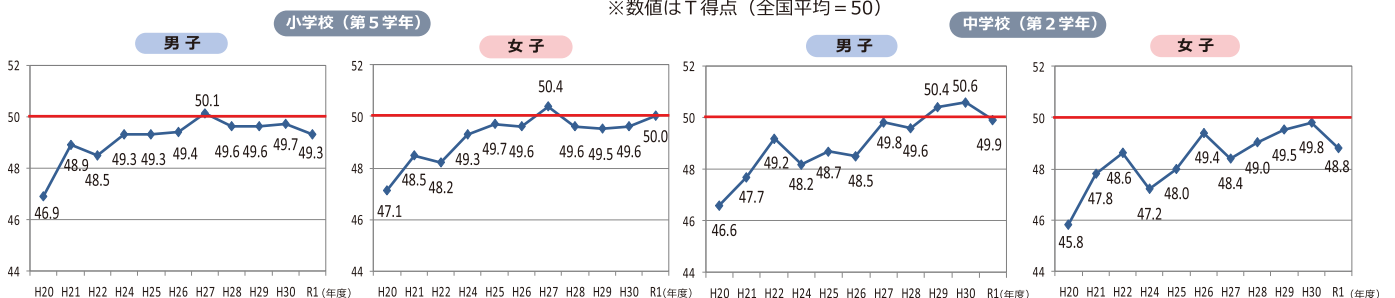
### 児童生徒の体力・運動能力の状況

- 平成20年度の調査結果では、小・中学校、男女ともに全国最低水準にありましたが、その後は改善傾向が見られます。
- 近年は小・中学校、男女ともにほぼ全国水準に到達しましたが、継続的に全国平均を上回るまでには至っていません。

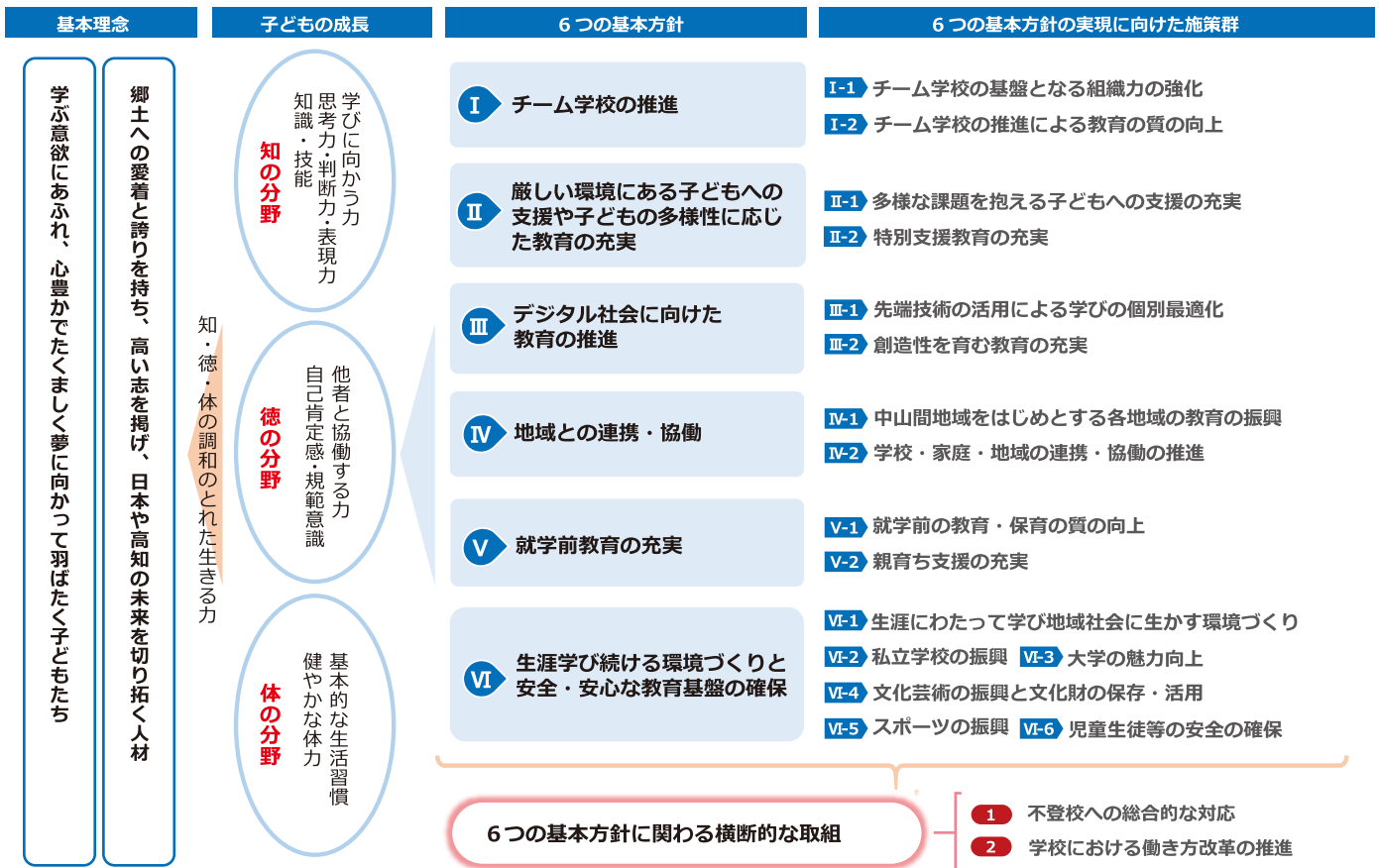
#### ■全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

##### ◇体力合計点（8種目の実技の合計点）の推移

※平成23年度は東日本大震災、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施  
※数値はT得点（全国平均=50）



# 基本理念（目指すべき人間像）の実現に向けた施策の体系図



## 改訂のポイント

### 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた改訂

- ◆コロナ禍においても子どもたちが安定した学校生活を送りながら、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を身につけるために、ICTを活用した学習活動の充実による一人一人の多様性に応じた個別支援や、厳しい環境にある子どもたちへの支援などの一層の充実・強化を図ります。

#### ポイント1 デジタル技術を活用した「学校の新しい学習スタイル」の構築



- 新型コロナウイルス感染症への対応にも有効な国の進める「GIGAスクール構想」により整備したタブレット端末を活用し、個々の学力を引き出し主体的・対話的で深い学びを実現する「学校の新しい学習スタイル」の実現を目指すとともに、ICTを活用した「学校における働き方改革」を推進します。

#### ポイント2 多様な子どもたちの社会的自立に向けた就学前から高等学校までの切れ目のない教育の充実

- コロナ禍において、さらに厳しい環境にある子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育の力で断ち切るための取組を推進するなど、多様な課題を抱える子どもたちを誰一人取り残すことがないよう社会的自立に向けた支援を強化します。

#### ポイント3 不登校への重層的な支援体制の強化

- 不登校等の児童生徒の学校や社会とのつながりを確保するとともに、学校復帰、社会的自立を実現する不登校支援を推進します。

#### ポイント4 系統的な体力・運動能力の育成に向けた取組強化

- 系統的に児童生徒の体力・運動能力の向上を図るため、就学前からの計画的・継続的・合理的な取組を推進します。

#### ポイント5 きめ細かな指導體制の整備と学校における働き方改革

- 「学校の新しい学習スタイル」を支えるきめ細かな環境を整備します。
- 市町村教育委員会や学校・地域と連携し、学校における働き方改革を推進します。

第2期教育大綱及び第3期基本計画1年目の成果や課題を踏まえ、**教育の「質」を向上させる取組を推進、強化**

## 基本方針

### I

## チーム学校の推進

- 学校の組織力を高めながら、教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上や生徒指導の充実を図ります。
- 外部の専門家や地域の人材の力も活用して、学校の目標の実現や課題の解決を図ります。

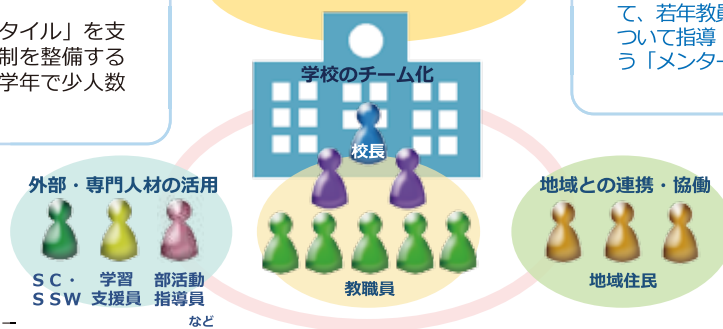
### ■ 学校の組織マネジメント力を強化する仕組みの構築

- ・ 主幹教諭から校長までを対象とする学校組織マネジメントと人材育成を柱とした体系的な研修プログラムの充実
- ・ 学校訪問による学校経営や授業改善に関する管理職への指導・助言
- ★ 「学校の新しい学習スタイル」を支えるきめ細かな指導体制を整備するため、小学校すべての学年で少人数学級を実現 等

### 「チーム学校」の体制の強化

校長のリーダーシップのもとで組織マネジメントが効果的・効率的に推進される組織体制の確立

専門家や地域人材の力も活用し組織的・協働的な取組の推進



SC : スクールカウンセラー  
SSW : スクールソーシャルワーカー

### ■ 教員同士が学び合い高め合う仕組みの構築

- ・ 全ての学校において、学校種や学校規模に応じたOJTの仕組みを構築し、教員の指導力の向上や授業改善等に向けた組織的・協働的な取組を推進

経験豊富な教員がメンター（助言者）として、若年教員の学級経営、授業づくり等について指導・助言しながらチームで学び合う「メンター制」を拡充 等

## 基本方針

### II

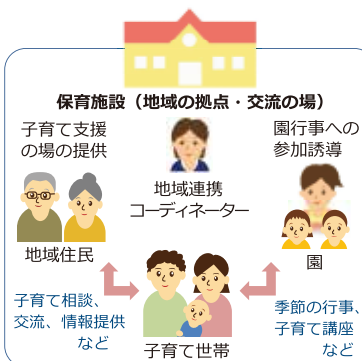
## 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実

- 子どもたちの貧困の世代間連鎖を教育の力で断ち切るために、社会的自立に向けたキャリア教育・進路指導の充実や福祉保健部署との連携強化を図ります。
- 発達障害を含めた全ての障害のある子どもたちの自立と社会参加に向けて、多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ります。

### 就学前から高等学校まで切れ目のない支援の実施

#### ■ 保育所・幼稚園等と家庭や地域等との連携の充実

- ・ 保育所・幼稚園等を中心とした地域の子育て経験者や子育て世帯等が交流できる場づくりの推進



#### ★ 社会的自立に向けた就学前から高等学校までの切れ目のない教育の充実

- ・ 多様なロールモデルの提示やキャリア・パスポートの効果的な活用の仕組みづくりなどキャリア教育の充実
- ・ 中学校の段階から、進学・就職時の経済支援制度や各高等学校の学習活動の情報提供など進路指導の充実
- ・ 「スクールソーシャルワーカー（SSW）」と各市町村の児童福祉担当部署との定期的な情報共有や相互連携による支援体制の充実



### 特別支援教育の充実

#### ■ 障害の状態や教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- ・ 教職員の専門性・指導力の向上
- ・ 通級による指導・支援の充実（高等）
- ・ 組織的な指導・支援体制の充実 等

#### ■ 特別支援学校における多様な教育的ニーズへの対応の充実

- ・ 専門性・教育内容の充実
- ★ 1人1台タブレット端末等のICT機器を日常的に活用した指導・支援の充実 等

## デジタル社会に向けた教育の推進

- 先端技術を有効に活用し、学習機会の地域間格差の解消のほか、1人1台タブレット端末や学習支援プラットフォームの活用により、「学校の新しい学習スタイル」の実現を目指します。
- 急速に進むデジタル社会に対応し、学んだ技術と創造性を発揮して社会で活躍できる力を育みます。

### 先端技術の活用による学びの個別最適化

#### ■ ICTやAI（人工知能）等の先端技術の活用

- ★ 遠隔教育システムを活用した全ての小規模高等学校に対する授業や補習等の配信
- ★ ICT支援員等の確保促進及び資質向上のための研修等の実施
- ★ 教員のICT活用指導力向上のための体系的な研修プログラムの開発及び実践 等



▲遠隔教育システムを活用した授業

#### ■ 学校のICT環境の整備

- ★ 高等学校及び特別支援学校高等部における生徒の1人1台タブレット端末等の迅速な整備
- ★ 保育活動や教育課程に位置付けた情報モラル教育のさらなる充実 等

#### ★ 学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」の活用促進

個々の理解に合わせて段階的に学習を進められる教材  
+  
一人一人の学習定着度を把握し、学習指導に活用できる機能 等



### 創造性を育む教育の充実

#### ■ プログラミング教育の推進

- ・ 県内の情報教育の中核的な役割を担うリーダー教員の計画的な養成
- ・ ICT活用フォーラムを通じた最先端の教材の活用方法や指導方法の周知 等



▲1人1台タブレット端末を活用したプログラミング学習

#### ■ AI人材育成のための教育の推進

- ★ 高大連携によるデジタル分野の専門的な知識や理論、技術等を系統的に学習できる環境の整備 等

## 地域との連携・協働

- 行政・学校・地域の連携・協働により、各地域の特色を生かした教育の振興に向けた取組を推進します。
- 学校・家庭・地域が一体となって、地域全体で子どもたちを支え、見守り、育てる仕組みを構築するとともに、家庭の教育力の向上に向けた取組の充実を図ります。

#### ■ 中山間地域における多様な教育機会の確保

- ・ 高等学校の魅力化に向けた取組の推進
- ★ 遠隔教育システムを活用した授業や補習等の配信 等

#### ■ 地域全体で子どもを見守り育てる取組の推進

<地域学校協働本部のイメージ>



民生・児童委員等の参画による厳しい環境にある子どもたちの見守り体制を強化した「高知県版地域学校協働本部」へと発展

## 就学前教育の充実

- 全ての保育所・幼稚園等において、専門的で高度な知見に基づく質の高い教育・保育を受けることができる環境づくりを進めます。
- 乳幼児期における、よりよい親子関係の構築を図るため、親の子育て力を高めるための「親育ち支援」の取組の充実を図ります。

#### ■ 保育所保育指針・幼稚園教育要領等に沿った指導方法の徹底

- ・ 幼保支援アドバイザー等による訪問指導や研修等を通じたガイドラインや園評価の手引きの活用促進、園内研修の充実 等

<質の高い教育・保育を受けることができる環境づくり>

幼保支援アドバイザー等による訪問指導

組織マネジメント力の強化  
・ 園評価の手引きの活用

具体的な指導方法の徹底  
・ ガイドラインの活用

保育所・幼稚園等

保育者の資質・指導力の向上  
・ 研修内容の充実

保幼小の円滑な

接続の推進

・ 接続期カリキュラムの実践・改善



## 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保



- 生涯学習・社会教育の推進、多様なニーズに対応した教育機会の提供など、誰もが生涯にわたって学び続けられる環境やスポーツ等に親しめる環境の整備を推進します。
- 自然災害や事故、犯罪等から子どもたちの命を守り抜くため、学校等における安全教育等の充実を図るとともに、安全・安心で快適な教育環境の整備を推進します。

### 生涯にわたって学び地域社会に生かす環境づくり



▲オーテピア

### 私立学校の振興

### 大学の魅力向上



▲地域と大学が学び合う教育

### スポーツの振興

### 文化芸術の振興と文化財の保存・活用



▲高知城（追手門・天守）

### 児童生徒等の安全の確保



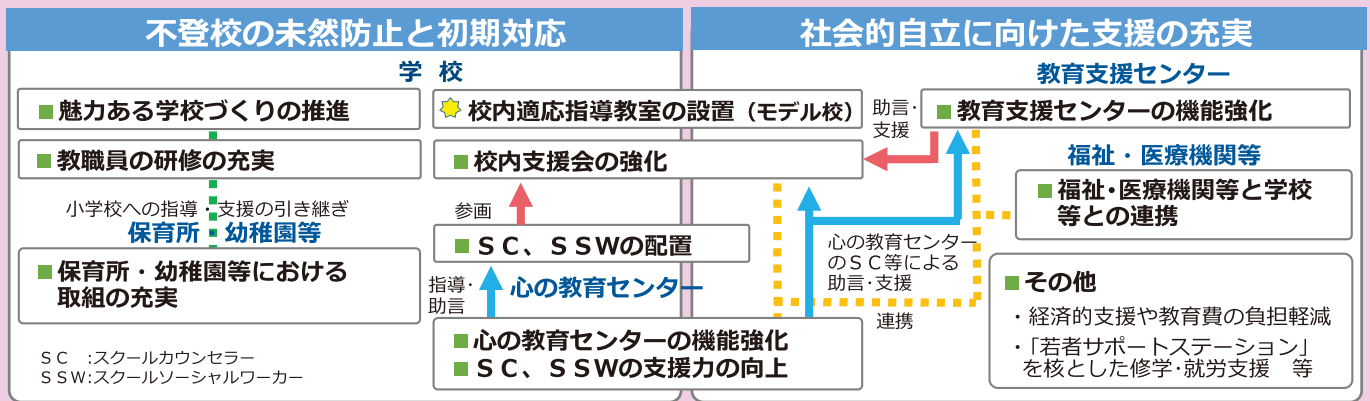
▲園児との避難訓練



## 2つの横断的取組

### 横断的取組 1 不登校への総合的な対応

- 不登校の未然防止と早期発見・早期対応を徹底するため、校内支援会の取組の充実など、組織的な対応を強化します。
- 不登校児童生徒への抜かりのない適切な支援を行えるよう、学校、教育支援センター、心の教育センターの連携を強化し、関係機関等を含めた重層的な支援体制を構築します。



### 横断的取組 2 学校における働き方改革の推進

- 教員の肉体的、精神的な負担を軽減し、日々の生活の質を向上させます。
- 教員が子どもと向き合う時間を確保し、限られた時間の中で最大の教育効果を発揮することができるよう、市町村教育委員会や学校等と連携し、業務の効率化・削減や外部人材の活用など、働き方改革に向けた取組を推進します。

#### ■学校組織マネジメント力の向上と教職員の意識改革

#### ■業務の効率化・削減

#### ■専門スタッフ・外部人材の活用

★ICTの活用による業務負担の軽減 等

学校への取組への支援

学校  
管理職を中心とした組織的なマネジメントの推進

# 基本目標 (令和5年度末までに以下の目標を達成できるよう施策を推進)



子どもたちが社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる、基礎的・基本的な知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育みます。

## <測定指標>

### ①小・中学校

#### ●全国学力・学習状況調査において、

- ・小学校の学力は全国上位を維持し、さらに上位を目指す
- ・中学校の学力は全国平均以上に引き上げる
- ・小・中学校ともに、全ての評価の観点で正答率を全国平均以上とする

▶H31 (R元) 年度全国学力・学習状況調査結果 (数値は全国平均正答率との差)

小学校: 国 +0.2 算 +1.7 中学校: 国 -2.0 数 -1.7

### ②高等学校

#### ●高校2年生の1月の学力定着把握検査におけるD3層の生徒の割合を10%以下とする

▶R2年度学力定着把握検査結果 (2年生 1月) D3層の生徒の割合: 17.9%

(県立高等学校のうち進学に重点を置く学校を除いた29校の平均)

\*学習内容が十分定着しておらず、進学や就職の際に困難が生じることが予想される生徒の割合

#### ●高等学校卒業者のうち進路未定で卒業する生徒の割合を3%以下とする

▶R元年度卒業生に占める進路未定者の割合: 4.7%



社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、他者への思いやりや規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性・社会性を育みます。

## <測定指標>

#### ●児童生徒質問紙調査における道徳性等 (自尊感情、夢や志、思いやり、規範意識、公共の精神など) に関する項目の肯定的回答の割合を向上させる

▶H31 (R元) 年度全国学力・学習状況調査結果 (肯定的な回答をした割合 ( ) は全国平均との差)

「自分には、よいところがあると思う」 小学校 82.7% (+1.5) 中学校 73.6% (-0.5)

「将来の夢や目標を持っている」 小学校 84.4% (+0.6) 中学校 74.3% (+3.8)

「学校のきまり (規則) を守っている」 小学校 90.7% (-1.6) 中学校 96.3% (+0.1)

#### ●生徒指導上の諸課題 (不登校、中途退学) の状況を全国平均まで改善させる

▶R元年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

・1,000人あたりの不登校児童生徒数: 小中22.4人(全国18.8人)、高校19.6人(全国15.8人) ・中途退学率: 1.5%(全国1.3%)

※ 不登校については、「横断的取組1 不登校への総合的な対応」の指標として、「1,000人あたりの新規不登校児童生徒数」「90日以上欠席している不登校児童生徒のうち、学校内外の関係機関等の相談や支援を受けている児童生徒の割合」「不登校児童生徒のうち、出席扱いの日数を除くと欠席日数が30日未満となる児童生徒の割合」を設定

・中途退学率: 1.5% (全国1.3%)



生涯にわたってたくましく生き抜いていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を身につけさせます。

## <測定指標>

#### ●全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、

- ・小・中学校の体力合計点は継続的に全国平均を上回る

▶R元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(数値はT得点(全国平均=50))

小学校: 男子49.3 女子50.0、中学校: 男子49.9 女子48.8

- ・総合評価でDE群の児童生徒の割合を過去4年間の平均値から3ポイント以上減少させる

▶過去4年間の平均値: H28~R元年度における高知県のDE群の割合の平均値

小学校: 男子32% 女子24%、中学校: 男子29% 女子14%

\*総合評価: 体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価



■「第2期教育等の振興に関する施策の大綱(改訂版)」は、高知県総務部政策企画課ホームページからご覧いただけます。

■大綱を踏まえて教育委員会が策定した「第3期高知県教育振興基本計画(改訂版)」は、高知県教育委員会事務局ホームページからご覧いただけます。



高知県 総務部 政策企画課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20

TEL:088-823-9563 FAX:088-823-9267

E-mail:111601@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会事務局 教育政策課

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52

TEL:088-821-4731 FAX:088-821-4558

E-mail:310101@ken.pref.kochi.lg.jp



高知県は持続可能な開発目標 (SDGs) に向けて取り組んでいます。